



市民活動

ガイドブック
2020

ガイドブックの発刊にあたって

新型コロナウイルス感染予防対策のための外出自粛や人との接触の減少は、それに伴う経済的な影響、地域の集いの場の減少、家庭内で起こる問題の深刻化など、弱い立場にあった人々の生活をより困難な状況に追い込んでいます。

また、2010年には高齢者1人を2.4人の生産年齢人口で支えていた防府市の人口構造も、2020年には1.8人で1人を支える構造となっており、2030年には1.6人で1人を支える状況が予測されています。

地域の課題そのものも、それを解決していく担い手も、より困難な状況に変化していく中で、課題解決に向けた取組を、SDGsなども踏まえながら、さまざまな属性の活動がつながり合うことで達成していくことが社会的に認知されつつあります。防府市市民活動支援センターでは、多様な属性の活動がつながる支援、地域課題の解決に取り組む市民活動団体への支援、これから行動したい人たちを巻き込む支援などの事業に取り組んでいます。

この度、5年に一度実施している市民活動団体実態調査において、協働に関するアンケートと併せて新型コロナウイルス感染拡大によって生じた課題への対応に関するアンケートなども行いました。本書において、そのアンケート結果とともに、社会の変化やニーズの多様化に対応しながら活動を行っていくための参考にしていただければとその活動の一部を事例として掲載しました。

本書により、防府市を中心に活動する市民活動団体の活動がより活発となり、各市民活動団体と行政・企業との協働が促進され、地域の課題解決の一助となることを期待しています。

市民活動とは	3
--------	---

防府市市民活動団体アンケートの結果から	5
---------------------	---

新型コロナウイルス感染拡大によって生じた社会課題への対応事例

■ 食堂運営に関する情報共有・新しい手法の模索	幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会	14
■ 県内在住外国人への食品配布	青年海外協力隊山口県 OB 会	15
■ 『お母さん食堂弁当』の提供	マミーサポート	16

新型コロナウイルス感染拡大によって生じた活動上の課題への対応事例

■ プロボノワーカーと取組む『テレわんこ・テレにゃんこ』	特定非営利活動法人青い鳥動物愛護会	17
■ 他団体との連携による定例会の継続	防府リボンの会	18
■ 『牟礼地区まるっとスタンプラリー』の開催	牟礼青少年育成連絡協議会	19

防府市市民活動支援センター紹介	20
-----------------	----

防府市市民活動支援センター機能活用事例

■ 出張講座の活用	開出西自治会	24
	グリーンサポートやまぐち	24
	公益社団法人防府青年会議所	25
	防府市立防府図書館利用者・サークル連絡会	25
■ 市民活動ボランティアマッチング	こども食堂ひだまり	26
	天神藝術まつり実行委員会	26
	まつぼっくりの会	27
	ままはあと	27
■ 防府商工高等学校の実習受入れ	着物交流サークル	28
	防府市観光ボランティアガイドの会	28

市民活動とは

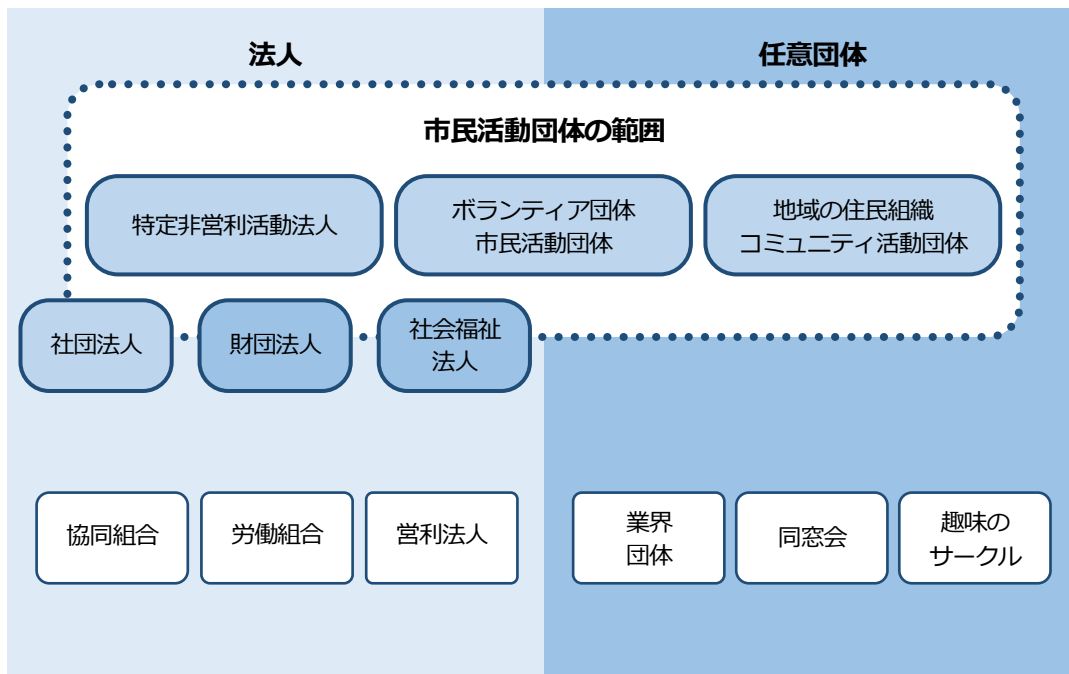
Q：市民活動ってなに？

A：「市民活動」とは、営利を目的としない市民の自主的な公益活動のことをいいます。市民が、自分だけのためではなく、みんなのために自分から進んで行ういろいろな活動のことです。防府市では市民活動の要件を次のようにしています。

- ・ 自主的に行なわれる活動
- ・ 市民の公益性を有する活動
- ・ 政治活動や宗教活動ではない活動
- ・ 営利を目的としない活動
(利益を分配せず、活動経費にあてるため市民活動に支障を生じない範囲で行う収益事業は非営利の活動です。)

Q：ボランティアやNPOは市民活動と何がちがうの？

A：どちらも営利を目的としない市民の自主的な公益活動のことであり、市民活動に含まれます。「ボランティア活動」は、個人あるいは志を共にする諸個人(グループ)が自発的な意思に基づいて他の人を助けたり社会に貢献したりする活動をいいます。「NPO 活動」は、特定非営利活動法人(NPO 法人) やそれ以外の民間非営利組織による組織的な「市民活動」をいいます。NPO とは、Non Profit Organization (非営利組織) の略です。



山口県県民生活課発行「県民活動団体との協働に関するガイドブック」を参考に編集

Q : 市民活動ってどんな活動があるの？

A : 市民活動の分野は多岐にわたっています。「特定非営利活動促進法」では以下のような活動分野で分類しています。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 | 12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 |
| 2. 社会教育の推進を図る活動 | 13. 子どもの健全育成を図る活動 |
| 3. まちづくりの推進を図る活動 | 14. 情報化社会の発展を図る活動 |
| 4. 観光の振興を図る活動 | 15. 科学技術の振興を図る活動 |
| 5. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 | 16. 経済活動の活性化を図る活動 |
| 6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 | 17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 |
| 7. 環境の保全を図る活動 | 18. 消費者の保護を図る活動 |
| 8. 災害救援活動 | 19. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動 |
| 9. 地域安全活動 | |
| 10. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 | |
| 11. 国際協力の活動 | |

Q : 市民活動に参加するには？

A : どんな活動に興味がありますか？ まずは、「すでにある団体」に参加してみても良いでしょう。興味のある団体が活動している場やイベントなどに実際に行ってみて、参加したり見学したり、またその団体のメンバーに話を聞いてみたりしながら、無理をせず、自分が興味を持てるもの、そして自分が活かせる団体かどうか判断して行動を起こしてみましょう。どんな団体があるか分からない場合は、「防府市市民活動支援センター」でも相談を受けています。お気軽にお問合せください。

Q : よく聞く「協働」ってなに？

A : 「協働」とは、さまざまな主体がそれぞれの役割及び責務を自覚するとともに、互いを尊重し、協力して取り組むことをいいます。(防府市の定義)
つまり、目的を同じにするさまざまな主体が、互いの強みを生かしあい、単独で行うよりもよりよい成果が得られるよう、連携や協力して事業に取り組むことをいいます。

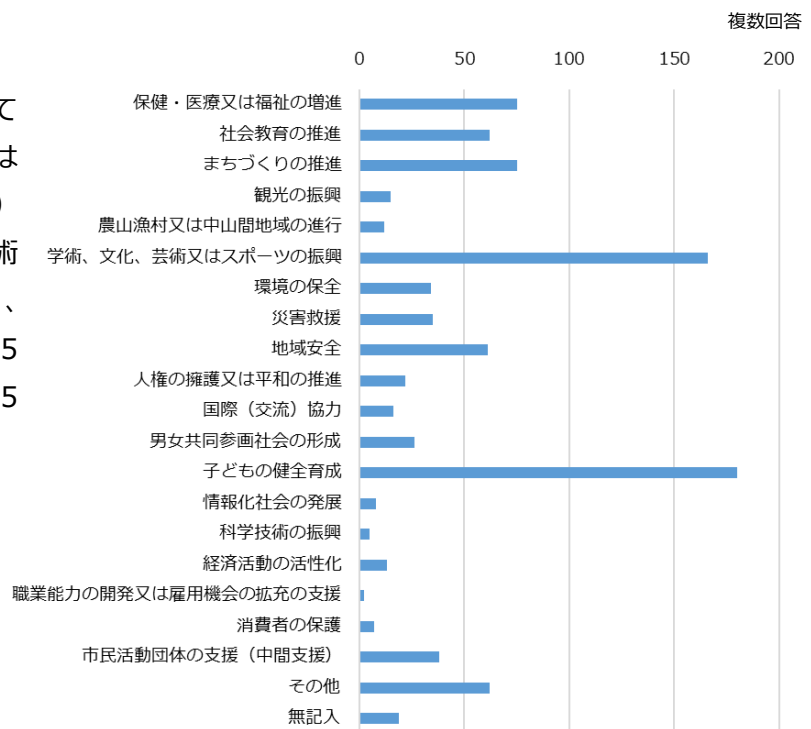
防府市市民活動団体アンケートの結果から

防府市市民活動支援センターでは、令和2年10月～12月に防府市の市民活動団体の現状や課題などを把握し、今後の事業に反映させることを目的とした「防府市市民活動団体アンケート」を、防府市内を拠点に活動する968団体に対して実施しました。有効回収数は424団体でした。

ここではその結果の一部を、2010年度（有効回収数：369団体）、2015年度（有効回収数：213団体）に実施した結果と比較しながらご報告します。

活動分野

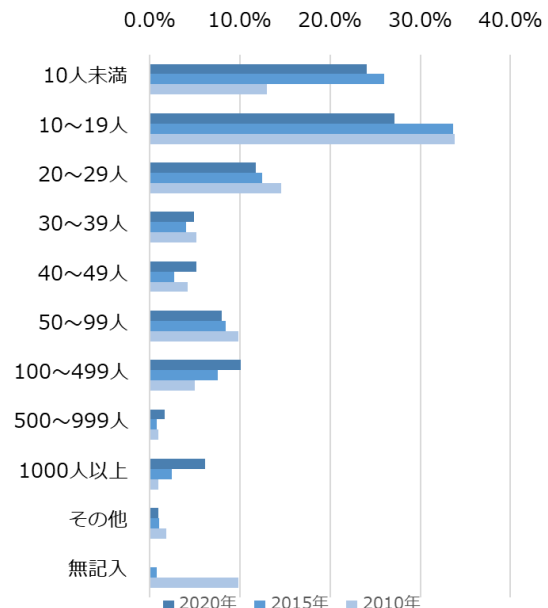
活動分野を複数回答で選択してもらったところ、最も多かったのは「子どもの健全育成」（180団体）であり、ついで「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」（166団体）、「保健・医療又は福祉の増進」（75団体）、「まちづくりの推進」（75団体）となっています。



会員数

会員数は「10～19人」（27.1%）が最も多く、ついで「10人未満」（24.1%）となっており、20人未満の団体が5割を占めています。

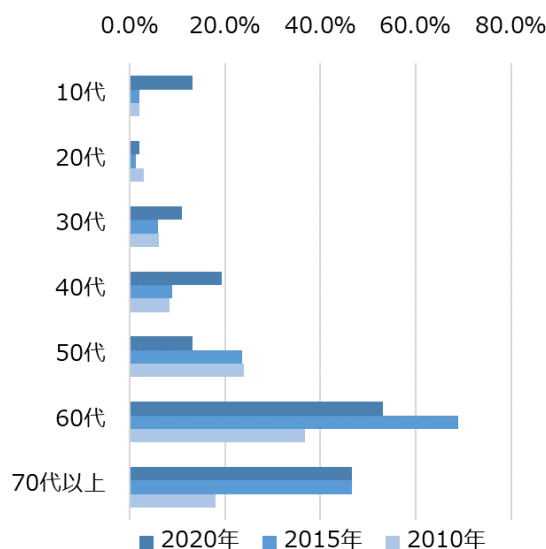
過去の調査結果と比較しても、同様の傾向となっています。



会員の年齢層

会員の年齢層は「60代」(53.1%)が最も多く、ついで「70代以上」(46.7%)となっています。年代の高い団体が5割を占め、過去の調査結果と比較しても、同様の傾向となっています。

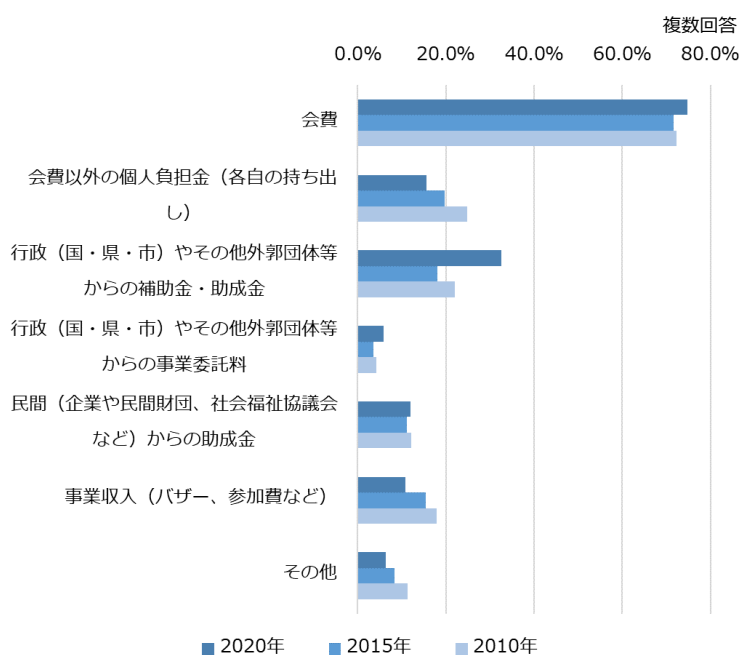
しかしながら、「40代」(19.3%)、「10代」(13.2%)の割合は、過去の調査と比較して高くなっており、地域活動などに若い世代も関わっていることを示しています。



活動財源

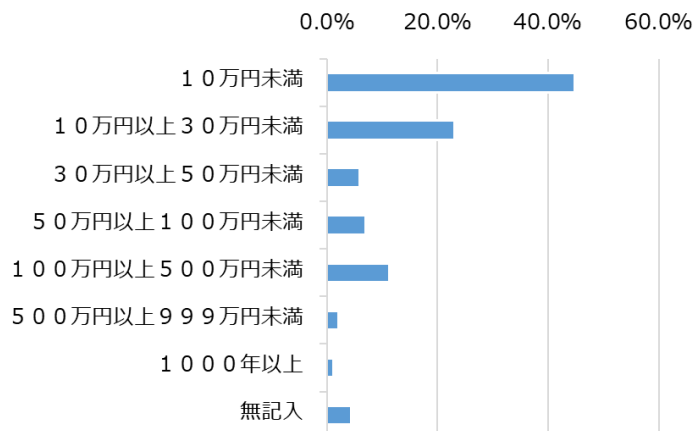
活動財源を複数回答で選択してもらったところ、「会費」(74.8%)が最も多く、ついで「行政(国・県・市)やその他外郭団体等からの補助金・助成金」(32.5%)、「会費以外の個人負担金(持ち出し)」(15.6%)となっています。

なんらかの「事業収入(バザー、参加費など)」を得ている団体は10.8%となっています。



支出総額

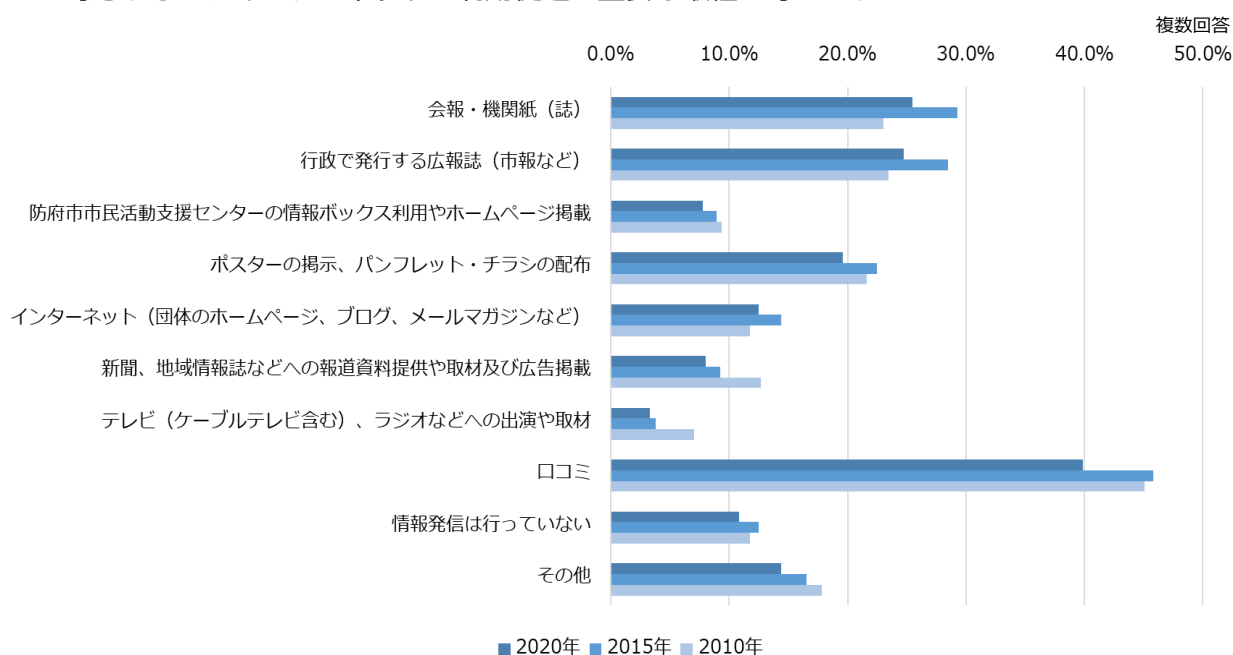
団体の支出総額は、「10万円未満」(44.8%)が最も多く、ついで「10万円以上30万円未満」(23.1%)となっています。



活動趣旨や内容紹介（情報発信）

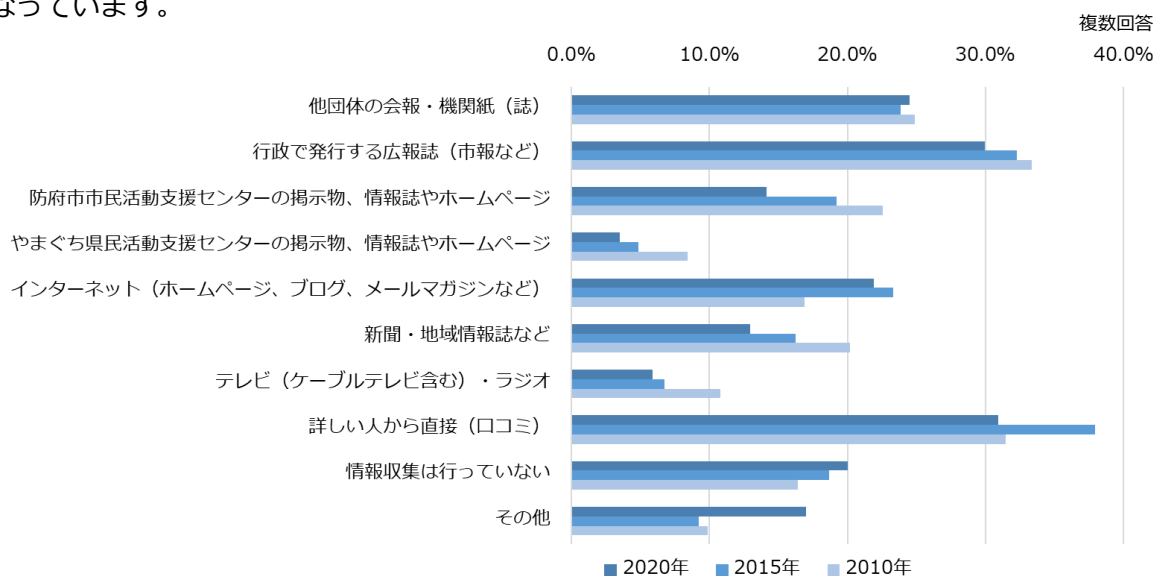
情報の発信の方法を複数回答で選択してもらったところ、「口コミ」（39.9%）が最も多く、ついで「会報・機関紙（誌）」（25.5%）、「行政で発行する広報誌（市報など）」（24.8%）となっており、過去の調査と同じ傾向です。

「インターネット（団体のホームページ、ブログ、メールマガジンなど）」の利用の割合は12.5%であり、過去の調査と同じ程度となっています。インターネットを活用した情報発信は、世代を問わず利用されるようになってきており、広く情報を発信するのに適しています。それらを考慮すると、インターネットの利用促進は重要な取組と考えます。



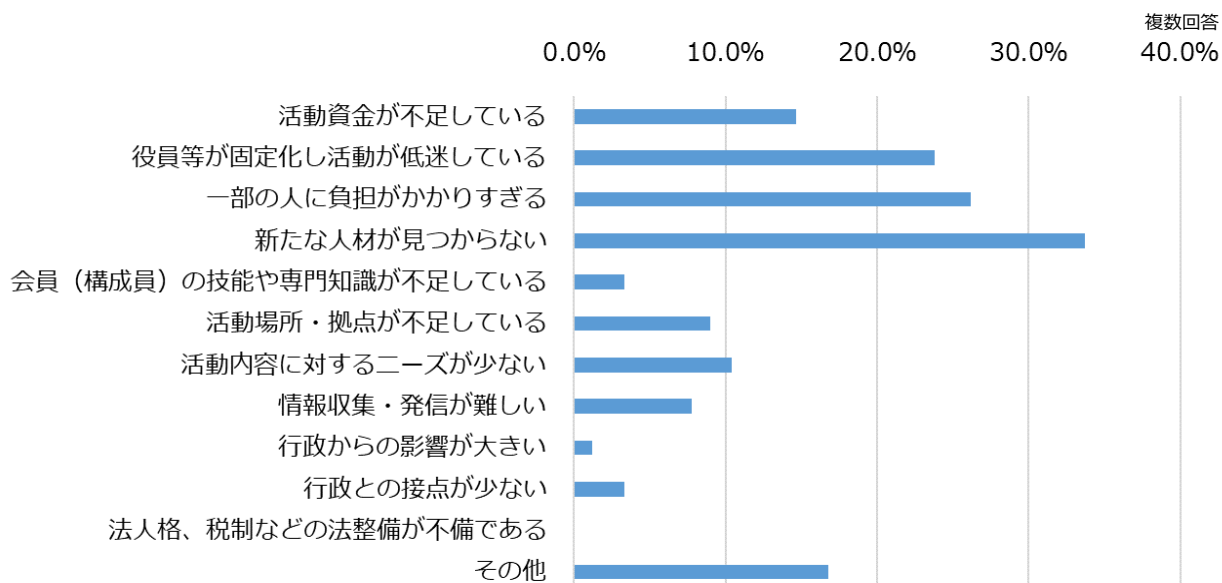
情報の入手方法

欲しい情報を入手している方法について複数回答で選択してもらったところ、「詳しい人から直接（口コミ）」（30.9%）が最も多く、ついで「行政で発行する広報誌（市報など）」（30.0%）となっています。



団体が現在抱えている活動上の課題・問題点

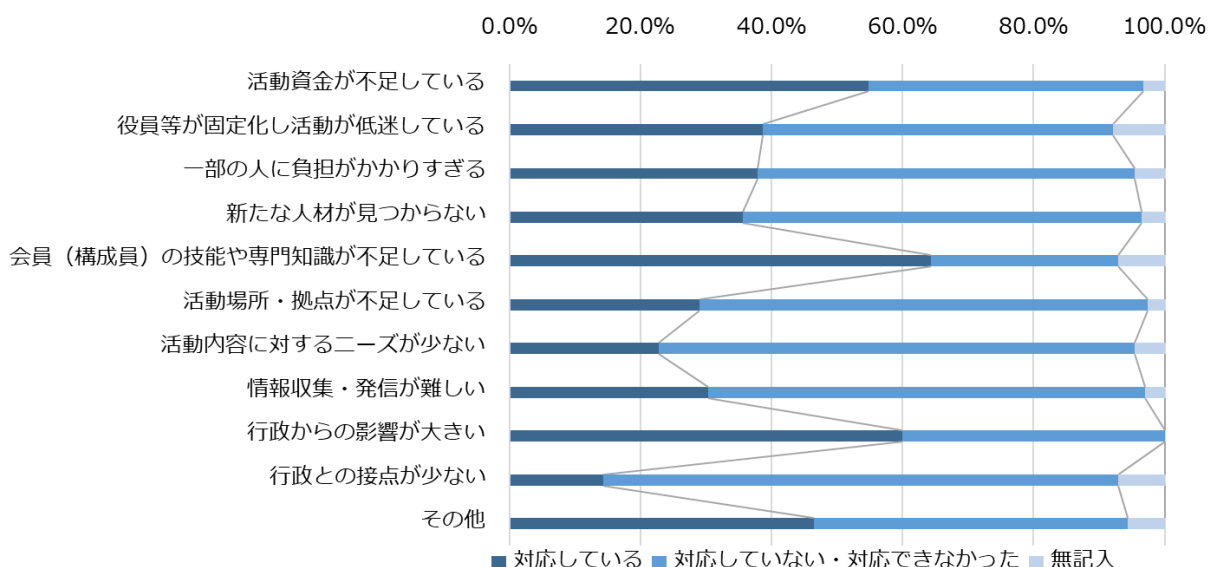
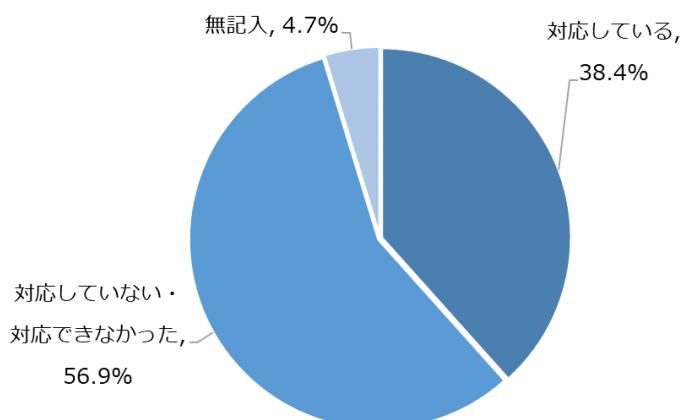
現在抱えている活動上の課題・問題点を複数回答で選択してもらったところ、「新たな人材が見つからない」(35.6%)が最も多く、ついで「一部の人に負担がかかりすぎる」(29.2%)、「役員等が固定化し活動が低迷している」(25.0%)となっています。



課題・問題点への対応について

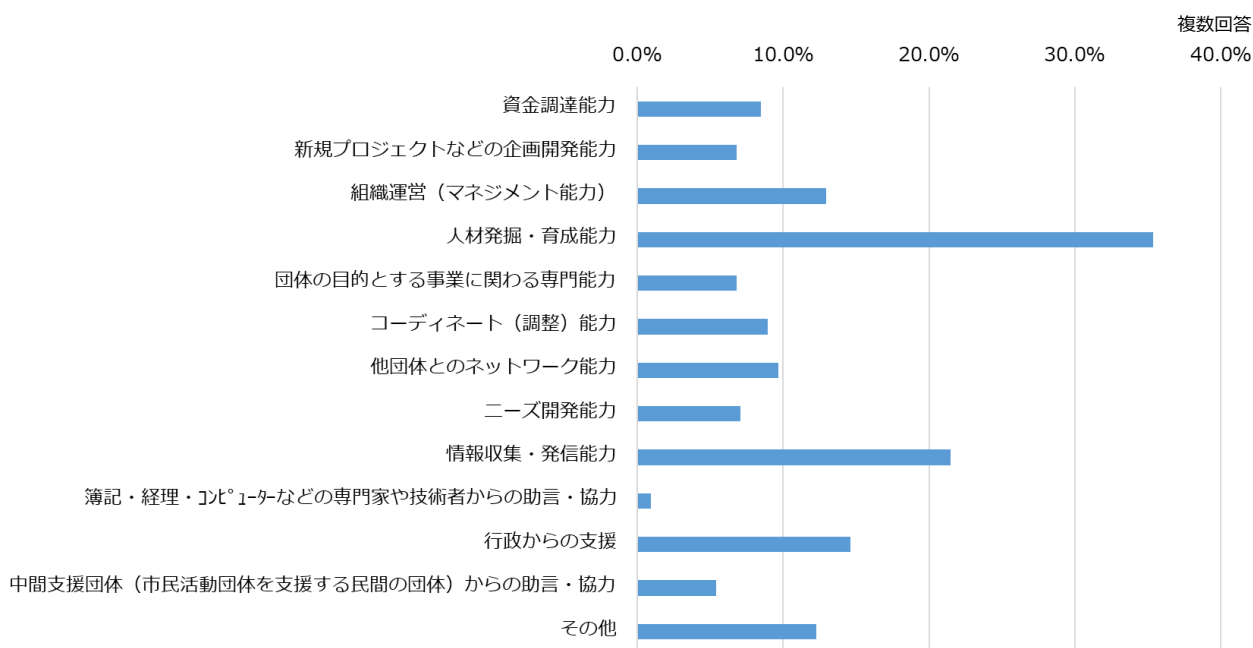
課題・問題点への対応は「対応している」が課題全体の38.4%となっています。

前述で回答が多かった「新たな人材が見つからない」では、「対応している」割合は35.7%となっています。次に多かった「一部の人に負担がかかりすぎる」では37.8%となっており、3割の団体でなんらか対応しようとしています。



課題・問題点の解決策

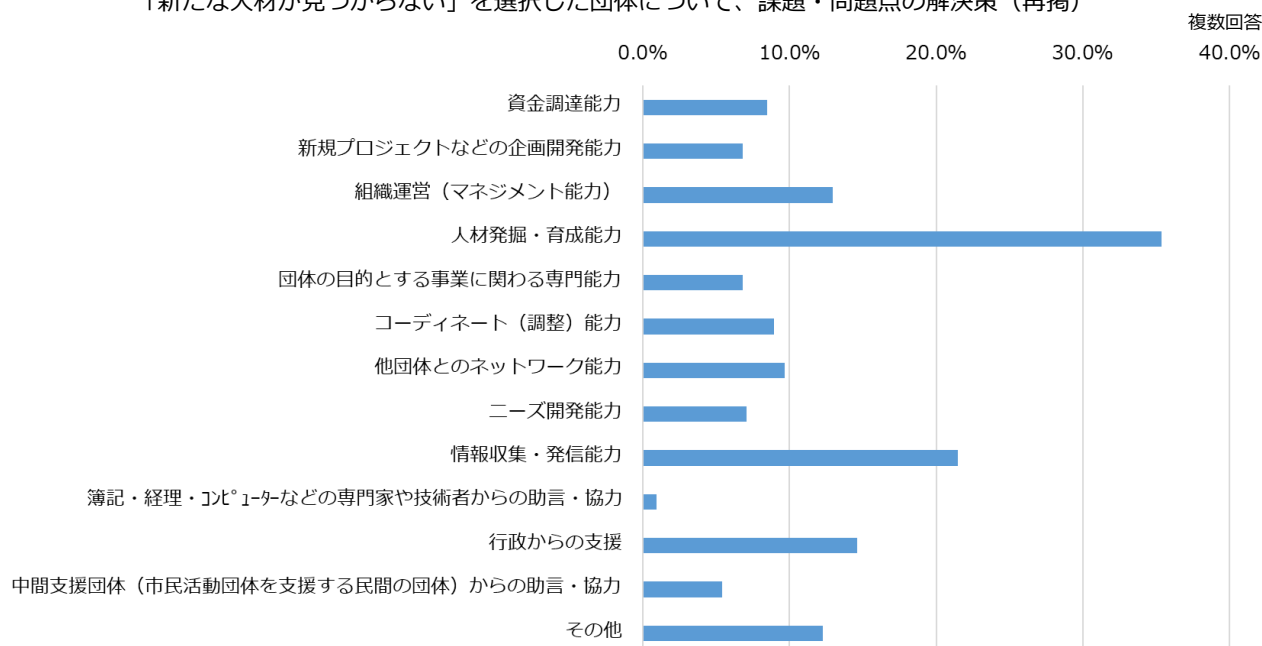
課題・問題点を解決するために必要なことを複数回答で選択してもらったところ「人材発掘・育成能力」(35.4%)が最も多く、ついで「情報収集・発信能力」(21.5%)、「行政からの支援」(14.6%)となっています。



課題・問題点として「新たな人材が見つからない」を選択した団体について、課題・問題点の解決策を再掲してみると、「人材発掘・育成能力」(99.3%)が最も多く、ついで「情報収集・発信能力」(60.3%)となっています。

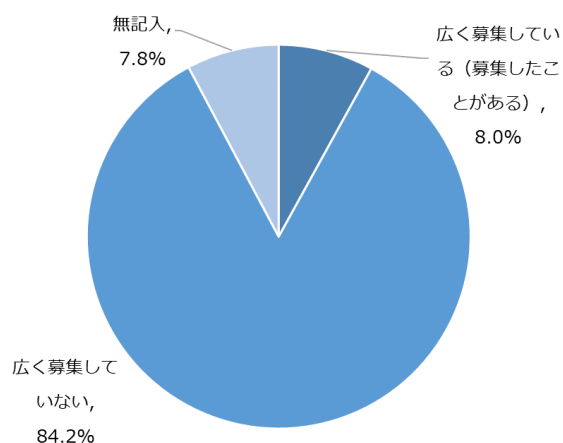
新たな人材を発掘していくためには、情報収集・発信能力が重要であり、前述の情報発信に関する結果を考慮すると、インターネットを活用した情報発信は重要な取組と考えます。

「新たな人材が見つからない」を選択した団体について、課題・問題点の解決策（再掲）



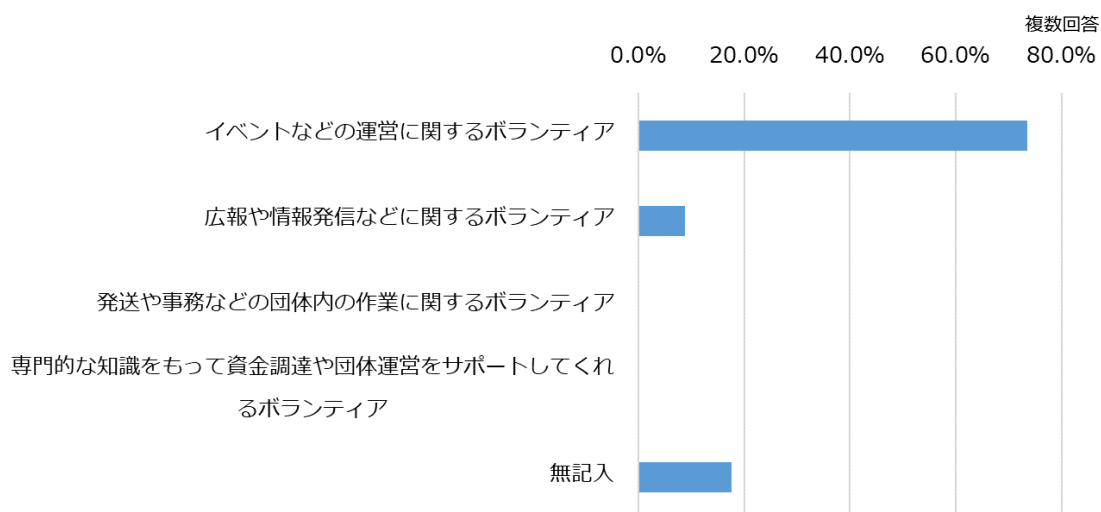
ボランティアの募集

ボランティアの募集については、「広く募集している（募集したことがある）」（8.0%）となっており、ほとんどの団体に募集をしたことがない状態です。



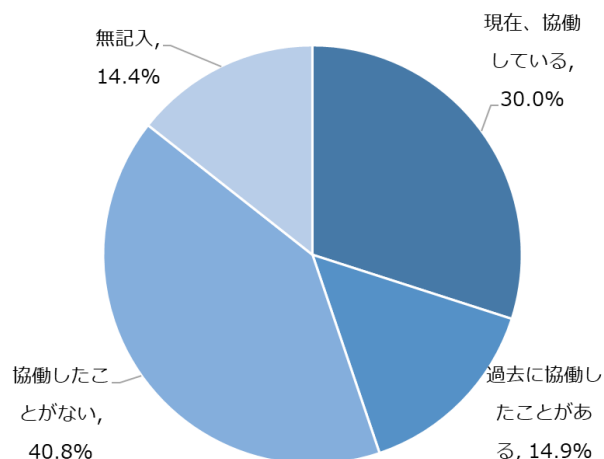
どのようなボランティアを募集しているかについては、「イベントなどの運営に関するボランティア」（73.5%）が多くなっています。

「広報や情報発信などに関するボランティア」（8.8%）は低い割合にとどまっており、前述の課題・問題点の解決のための情報発信に向けて、これらの取組を進めることが有効と考えます。



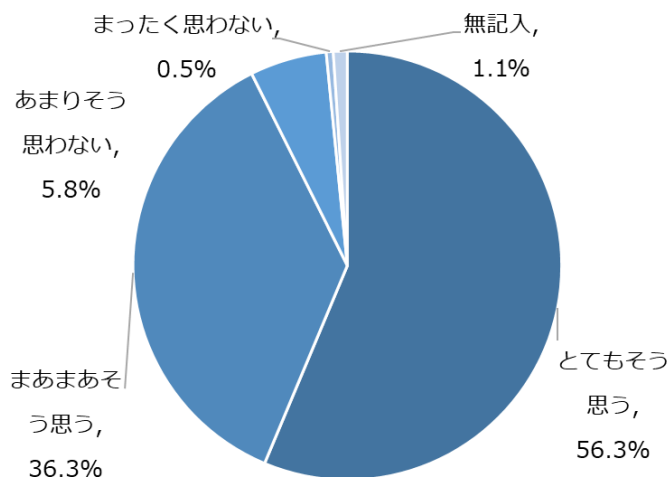
協働について

行政・企業・学校・地域コミュニティなどさまざまな主体との協働について、「現在、協働している」(30.0%)、又は「過去に協働したことがある」(14.9%)となっており、それらを合わせると、4割の団体が協働を経験したことがあります。

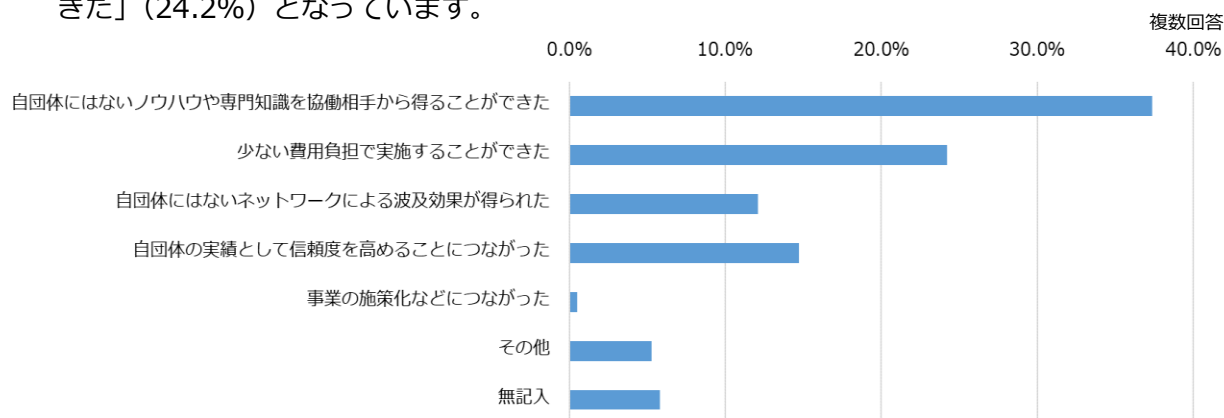


協働の成果

その協働によって、単独で行うよりもよりよい成果が得られたと思うかという設問に対しては、「とてもそう思う」(56.3%)、「まあまあそう思う」(36.3%)となっており、9割以上の団体が成果を感じています。



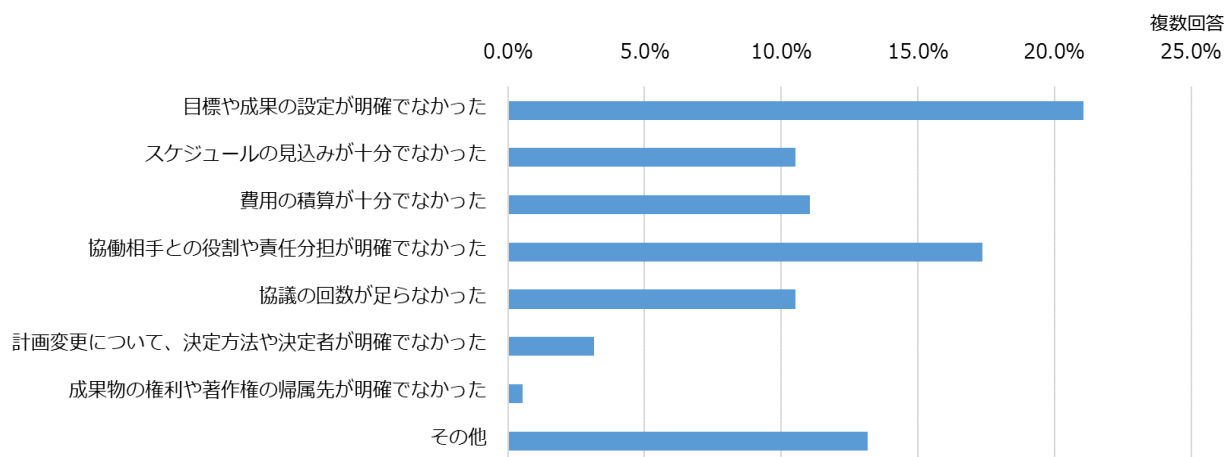
協働事例について、よかった点については、「自団体にはないノウハウや専門知識を協働相手から得ることができた」(37.4%)が最も多く、ついで「少ない費用負担で実施することができた」(24.2%)となっています。



一方、改善点や課題などについては、「目標や成果の設定が明確でなかった」(21.1%)が最も多く、ついで、「協働相手との役割や責任分担が明確でなかった」(17.4%)となっています。

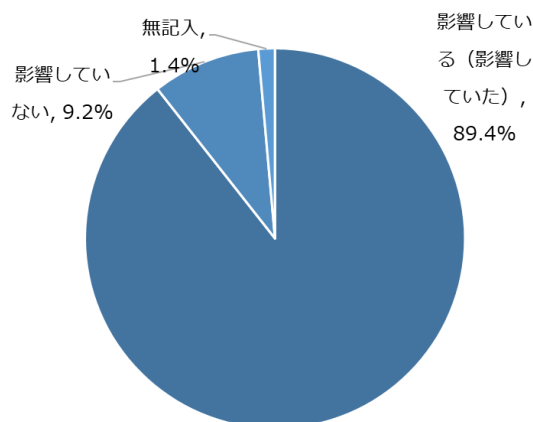
目標や成果、役割などは、事業を進める話し合いの中で解決できる点も多いと考えます。

協働の促進に向けた支援として、相互の意思疎通や明確にしなければならないポイントを整理するといった、話し合いの場の支援も重要と考えます。

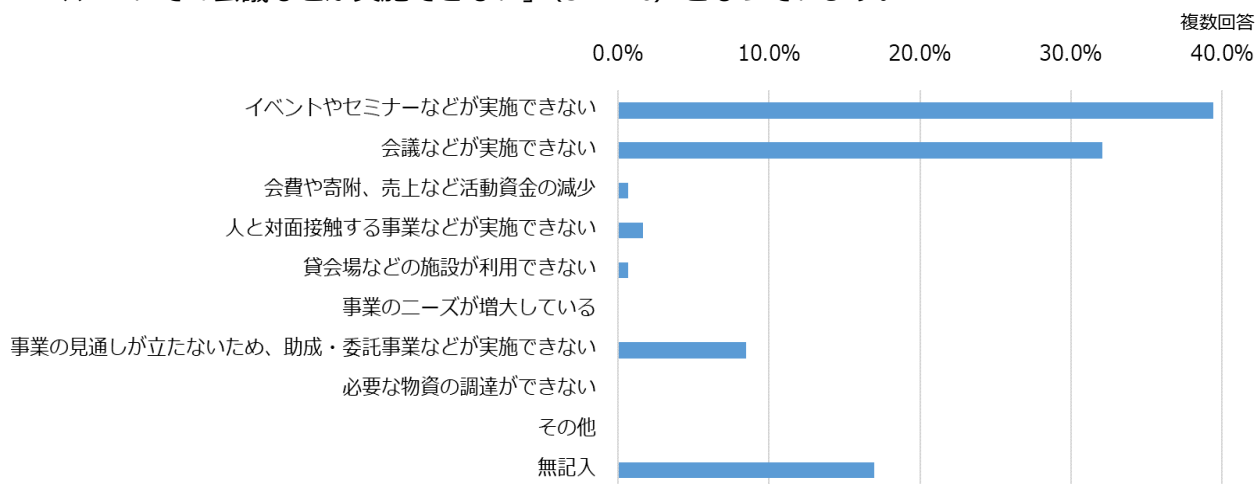


新型コロナウイルス感染症による影響

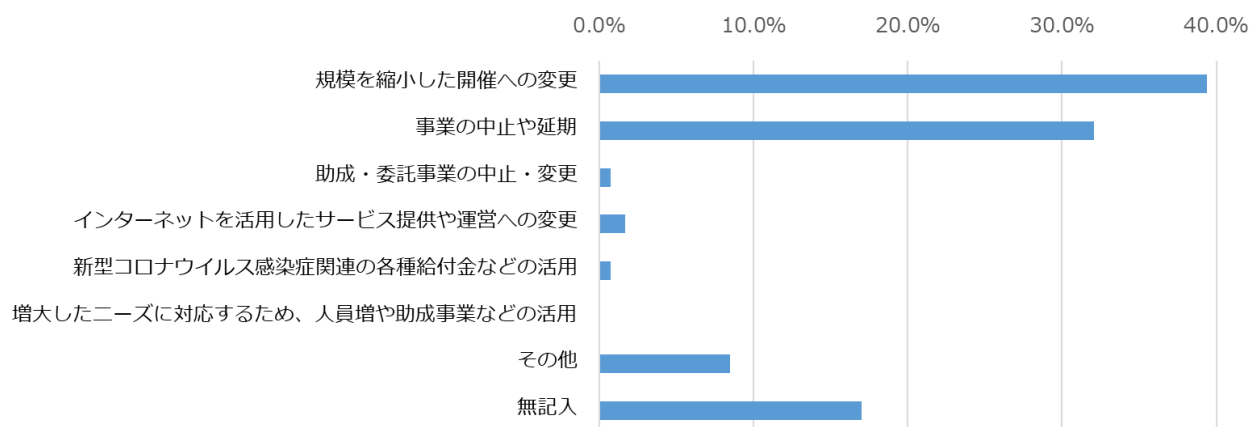
令和2年3月頃からの新型コロナウイルス感染症による社会的な変化影響については、「影響している（影響していた）」（89.4%）となっており、ほとんどの団体が影響を受けています。



その具体的な内容としては、「イベントやセミナーなどが実施できない」（39.4%）が最も多く、ついで「会議などが実施できない」（32.1%）となっています。



その対応としては、「規模を縮小した開催への変更」（39.4%）が最も多く、ついで「事業の中止や延期」（32.1%）となっています。



規模縮小が一般的な対応ではありますが、「インターネットを活用したサービス提供や運営への変更」（1.7%）という対応をしている団体もあります。当センターでもインターネット活用のための機材貸出や運営のお手伝いなど、さまざまな形で活動をサポートしています。

食堂運営に関する情報共有・新しい手法の模索

幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会

『幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会』は、地域共生社会の実現を視野に入れ、子ども食堂を通して、子どもや高齢者、障がい者など誰もが住み慣れた地域で安心して楽しく暮らせる地域づくりや居場所づくりの一助とすることを目的に活動しています。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子ども食堂などの地域福祉活動やさまざまな行事の開催可否について判断を迫られる状況が続く中、各子ども食堂が、安定かつ継続して開設できるよう支援し、運営資源を開拓して相互に有効活用できるよう調整するために、今こそネットワーク協議会が必要だという声が挙がり、令和2年4月に発足し、8月に発足式を行いました。

各子ども食堂代表者として、社会福祉法人や特定非営利活動法人、医療法人、民生委員・児童委員というさまざまな立場のメンバーが参画しています。

一言で、子ども食堂と言っても、対象や運営の仕方などはさまざまです。しかし、食の安全や感染予防という意味で共通する課題も多く、食堂を運営する上での感染症対策や食品衛生管理に関する研修会を行ったり、市外・県外の研修会にオンラインで参加して情報収集したりしてきました。LINEのグループを活用し、新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、子どもたちに必要な支援を届けるため、あらゆる状況における対策の事例共有なども行ってきました。また、個々で活動するよりも企業からのバックアップも得やすくなるという効果もありました。今後も、多様な団体や業種と協働することで、子ども食堂を通して、地域住民の輪づくりからさまざまな個別・相談支援に対応していくことのできる協議会になることを目指しています。

地域・子ども食堂

- ・あおぞら食堂（華浦）【特定医療法人博愛会】
- ・かいほく地域食堂（右田）【子ども家庭支援センター“海北”】
- ・勝間ふれあい食堂（勝間）【勝間ふれあい食堂実行委員会】
- ・さくら食堂（向島）【さくら食堂】
- ・さばっこ食堂（佐波）【さばっこの会】
- ・スマイルホーム（中関）【みんなで笑顔の会】
- ・スローライフ食堂（佐波）【株式会社よこやま スローライフ】
- ・中関ふれあい食堂（中関）【中関ふれあい食堂実行委員会】
- ・ひだまり食堂（佐波）【子ども食堂ひだまり】
- ・まつぼっくり食堂（松崎）【まつぼっくりの会】
- ・ルルサス食堂（松崎）【特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと】

問合せ 幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会

事務局：防府市社会福祉協議会

TEL (0835) 22-3907

県内在住外国人への食品配布

青年海外協力隊山口県OB会

『青年海外協力隊山口県 OB 会』は、青年海外協力隊として途上国で活動した経験を社会に還元するため、国際協力・交流活動や青年海外協力隊事業の普及・啓発活動を行うとともに、OB・OGの交流を行うことを目的に活動しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県内在住外国人のアルバイトや仕事が少なくなっている現状があると聞き、少しでも助けになればという想いで、令和2年7月、8月に、『赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン』の助成金を活用して県内5ヶ所（下関、周南、山口、宇部、防府）で外国人向けの食品配布会を行いました。

食品に関しては、『特定非営利活動法人フードバンク山口』に、広報に関しては、告知文などの翻訳を『公益財団法人山口県国際交流協会』に、県内各市での情報の拡散を日本語教室や外国人につながる方などに協力してもらいました。配布会場には、延べ232人の外国人が訪れ、食品を配るだけでなく、日頃の暮らしぶりなどを尋ねてみたところ、「技能実習の期間が終わったのに国に帰れず、お金が減っていくばかり」「ホテルでアルバイトをしているが、出勤時間が減って収入が減ってしまった」といった声もあり、経済的な影響が多くの方に及んでいることがわかりました。また、この活動を通して把握できた外国人子育て家庭12世帯に対して、自宅に食品を届ける形での支援を継続しています。

今回、言葉の違いなどにより情報がなかなか届きにくい外国人に対し、支援の情報などを届けてくれる人の存在の重要性を改めて実感しました。そして、情報を届ける手段の一つとして、漢字にふりがなを振ったり簡易な表現を用いたりして、日本語に不慣れな外国人にもわかりやすいようにした“やさしい日本語”を使って情報を発信する Facebook ページを立ち上げました。災害発生時や社会情勢に大きな変化が生じた際、このページで発信される情報が、たくさんの県内在住外国人の助けとなることを目指します。



問合せ

青年海外協力隊山口県 OB 会 担当：松浦
TEL 090-9503-7300



ブログ

『お母さん食堂弁当』の提供

マミーサポート

『マミーサポート』は、子育て世帯への支援や子ども食堂などの子どもの居場所づくり、多世代交流を目的に活動しています。

代表を務める吉田美和さんは、市内のカフェ『aco cafe』を経営されています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校が休校になったことで、給食がなくなり、子どもが一日中家で過ごすため、食費や光熱費がかかり経済的に厳しいという声を聞き、飲食業者として困っている人のために何かできないだろうか、市民活動支援センターに相談に来られたことをきっかけに、令和2年4月に団体を立ち上げ、母の日である5月10日に『お母さん食堂弁当』の提供を行いました。

お母さん向けのお弁当を300円、お子さん向けのお弁当を100円で提供し、売上は子ども食堂の運営に役立てられました。また、お弁当と一緒に、『新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック』を配布しました。主に、ひとり親家庭や生活に困難を抱える家庭に情報が届くよう、『幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会』を通じて、地域の民生委員・児童委員とも連携して広報を行いました。利用された方からは、「家計が助かった」「一食分作らずに済んでとても助かった」「家族での会話がいつもより弾んだ」といった声がありました。

また、今回利用された方を対象に、新型コロナウイルス感染拡大によって生じた困り事やニーズを把握するために、アンケート



調査も実施しました。「ひとり親家庭で親戚もいないため、自分がもし感染した場合子どもたちはどうなるのだろうか」と心配「子どもを遊ばせる場所が減り、自分が一緒に遊ぶと食事の準備が大変」といった回答がありました。

支援を必要とする家庭に情報を届けるために、学校等、教育機関との連携も視野に入れ、活動を進めていきます。

aco cafe × マミーサポート

お母さん食堂弁当

日ごちの「ありがとう」の感謝を込めて
プレゼントする母の日弁当

5/10 SUN 11:00-14:00

※先着順
※50名限定

※お母さん食堂弁当 ¥300 税込
小学生以下のお子さん
※おにぎり弁当 ¥100 税込

※アレルギー対応は行ってありませんのでご了承ください
運送のお弁当費用も付いております（¥500〜）
カーネーションの花束やウッキーなど母の日グッズも販売中！
（今後の売上は、こども食堂の運営に役立てられます）

お問い合わせ
aco cafe
防府市戎町1-1-2Bアスビラート1F
080-3057-1041

問合せ

マミーサポート 担当：吉田

TEL 080-3057-1041

プロボノワーカーと取組む『テレわんこ・テレにゃんこ』

特定非営利活動法人青い鳥動物愛護会

『特定非営利活動法人青い鳥動物愛護会』は、人と動物が共生する社会を目指し、保健所で保護された殺処分寸前の犬猫を保護し、譲渡する活動を行っています。平成 27 年に発足して以来、1,900 匹以上を譲渡し、防府市の保健所に収容されている犬猫の殺処分ゼロを平成 28 年 2 月から 4 年間維持させています。

市内 2 ヶ所のシェルターでは、約 300 匹の犬猫が暮らしており、一つでも多くの命を助けたいという想いで、少ない人数のスタッフが毎日世話をしていますが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、継続的に行ってきた譲渡会の中止を余儀なくされたり、シェルターを維持し犬猫を助けるために必要な資金となる寄付金を募る機会が減ったりしました。



そこで、県外のプロボノ(※)ワーカーの力を借り、ネットワークカメラを通じてリアルタイムで保護犬猫の様子を見ることができるようサイト構築を行いました。

代表の清水さんは、以前からこのような仕組みができればと考えておられたそうですが、一般的な動画配信サービスでは、導入費用が約 30~40 万円、月額約 3~5 万円かかり、それを継続的に運用する技術を持つスタッフもいないため、導入を諦めていました。

今回、東京と広島におられる 4 人のプロボノワーカーの協力を得て、まず、オンライン会議を繰り返し、団体としてのこの仕組みをつくる意義を整理した上で、低コストで簡単な操作性の機器や配信サービスを調査したことにより、導入費用 1 万円、月額 0 円という大幅なコスト削減、操作



難易度の軽減に加え、決まった時間に自動で配信がスタートするプログラムの開発が実現し、YouTube『青い鳥チャンネル』でのライブ配信がスタートしました。これにより、自宅で飼うことができない人でも、オンライン里親として犬猫を見守ることが可能になりました。併せて、資金調達の仕組みも組み込み、団体としての情報発信の幅が広がりました。

(※) 職業上の知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動



問合せ

特定非営利活動法人青い鳥動物愛護会 担当：清水
TEL 090-5240-5398



ホームページ

他団体との連携による定例会の継続

防府リボンの会

『防府リボンの会』は、乳がんと診断された方とその家族に情報を提供することで、精神的な力となり、安心して治療を受けられるよう側面から協力し、同じ経験をした者同士でないとわかり合えない身体と心の痛みや不安を同じ場所で共有できるようにするために、情報交換や交流を行う集いを開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、これまで定例会で利用してきた会場が使えなくなり、また、抗がん剤治療などの影響で免疫力の低い患者も所属しているため、防府市からの活動自粛要請もあり、定例会を中止せざるを得ない状況となりました。



患者同士の情報交換や交流の機会の減少をなんとか食い止めたいとの思いから、山口市の患者会である『ポポメリー』と連携し、オンラインでの定例会を始めました。一緒に行うことで、『防府リボンの会』としては、オンライン活用のノウハウやそれを学ぶことのできるセミナー情報、必要な機材を揃えるために活用できる補助金の情報などを『ポポメリー』から提供してもらうことができ、『ポポメリー』としては、活動を始めたばかりであり実績がない中、『防府リボンの会』が、長年、患者やその家族に寄り添いニーズを把握しながら継続してきた支援の形をこれからの活動の参考とすることができました。そして、互いの強みを活かし合った形での定例会が実現しました。

令和2年度は、オンライン会議の運営方法や、オンライン上でのコミュニケーションについて実践を通して学ぶことができました。今後は、自団体でも、治療中の方が安心して参加できるような会の運営ができるようにと、山口県の『頑張る県民活動団体応援事業補助金』を申請し、市外と防府市をつなぐオンライン会議を実施するために必要なプロジェクター等の機材や感染症対策グッズなどの備品を揃えました。また、市民活動支援センターのZoom勉強会にも参加し、スキルアップを図っています。



問合せ

防府リボンの会 担当：宿谷

TEL 090-4427-9485

『牟礼地区まるっとスタンプラリー』の開催

牟礼青少年育成連絡協議会

『牟礼青少年育成連絡協議会』は、“地域の子どもは地域で守り、育てる”を基本方針として、牟礼地域内の青少年の健全育成および社会環境の浄化・改善を推進し、心身ともに健やかな子どもを育てることを目的に活動しています。

毎年『牟礼親子ふれあいのつどい』を開催し、地域の交流の場を提供してきましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、他の地域でも多くの行事が中止となる中、協議会としてこれまで開催してきた行事をどうするのか、役員で多くの協議を重ねました。開催するかしないかではなく、なんとか開催する方法を模索し、役員それぞれのこれまでの経験や知識をフル活用した結果、家族以外と



の直接的な接触を極力避け、三密を避けるために時間差で行動するなどの感染予防対策を取りながら、牟礼地区の名所を家族ごとにマイカーで巡る『牟礼地区まるっとスタンプラリー』の開催が実現しました。

当日は、牟礼校区・牟礼南校区から33家族92名が参加し、各ポイントで〇×クイズに挑戦したり、地域の方による特別授業を受けたりと、楽しい時間を過ごしました。コロナ禍で、近所で遊ぶ子どもたちの声が聞こえなくなっていました。久しぶりにたくさんの親子の笑い声が聞こえました。参加者は、「牟礼地区に住んでいながらこんな場所があることを知らなかった」「近場でこんなに楽しめるとは思わなかった」と、家族で外出する機会が減ったこともあり、とても満足された様子でした。スタンプラリーを通して、地域が賑わうようにという思いから、地元の商店で使えるクーポンを景品として配布したことで、買い物を楽しむ家族連れの笑顔も見ることができました。



問合せ

牟礼青少年育成協議会 担当：田村

TEL 080-5613-7854

防府市市民活動支援センター紹介

防府市市民活動支援センターは、防府市における市民活動の促進支援及び活性化を図るために設置された施設です。

利用される側も利用する側も、“お互い様”の精神で、お互いに気持ち良く利用できる施設を目指しています。

防府市市民活動支援センターでは、こんなサポートをします。

人 材	人材の発掘・養成、団体・個人の活動登録など
情 報	市民活動情報の収集・発信 情報ボックスの設置など
ネットワーク	情報交換の場の提供 ネットワーク作りの支援など
相 談	市民活動の相談受付など
施 設	会議室、作業室、印刷機の利用、 資料づくりの作業など
協 働	関係機関・団体の協働体制作りなど

「防府市市民活動支援センター」は、防府市から防府市地域協働支援センター（市民活動支援センター部門を含む）の指定管理を受け、特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっとが運営しています。

問合せ

〒747-0035

山口県防府市栄町 1-5-1 ルルサス防府 2 階

防府市地域協働支援センター内

防府市市民活動支援センター

T E L (0835) 38-4422

F A X (0835) 24-7733

E-mail ehofu@trust.ocn.ne.jp

U R L <http://hofu-saport.org/>

開館時間

月・水～日曜 10:00～22:00

（相談受付時間 月・水～日曜 10:00～18:00）

休館日

火曜（火曜日が休日の場合は、その日後の直近の平日）

年末年始（12月29日から翌年の1月3日）

防府市市民活動支援センター 案内図

①防府市市民活動支援センター事務局

市民活動に関する相談など、スタッフが笑顔で対応します。インターネットを利用しての情報収集もできます。

②作業室

(登録団体のみ利用可能)

10名程度で利用できます。印刷室で作成した資料などの整理や、会議室ではできないような作業(工作、絵画など)ができます。

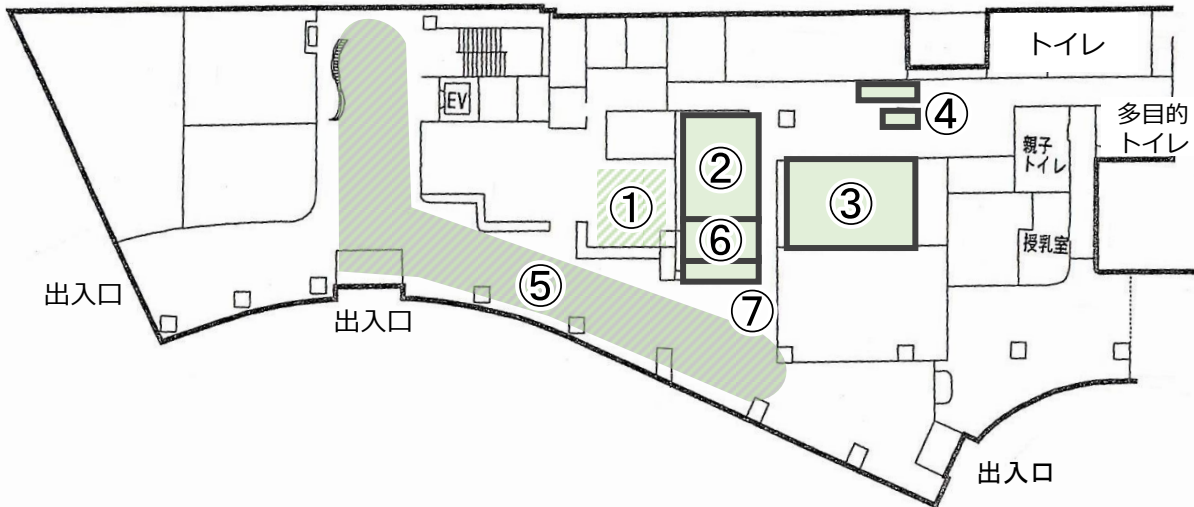
**利用月の半年前から受付開始
利用料：無料**

③会議室

(登録団体のみ利用可能)

20名程度で利用できます。パーティションで2部屋に分けることも可能です。(10名未満であれば、2団体が利用可能)

**利用月の半年前から受付開始
利用料：無料**



④大型・小型ロッカー

作業や会議に利用するための用紙や文房具、大型の荷物などの保管に活用できます。

希望団体へ貸し出し(先着順)

	利用料
小型ロッカー	1,200円/年
大型ロッカー	800円/月



⑤展示・情報コーナー

市民活動団体PRコーナーや市内を中心としたイベントの紹介・団体や施設などの情報を閲覧できます。



⑥印刷室

(登録団体のみ利用可能)

印刷機(2色刷り)、丁合機、裁断機、紙折機、紙さばき機、拡大機を設置しています。

	利用料
印刷機	製版 33円/枚 インク代 0.5円/枚 (合計金額の10円未満の端数は切り捨て)
拡大機	A1サイズ 150円/枚 A2サイズ 80円/枚

⑦情報ボックス

(登録団体のみ利用可能)

私書箱のような仕組みを持つ、他団体へ情報を提供するためのボックスです。

**希望団体へ1つ貸出(先着順)
利用料：無料**



その他にも2階フロアに位置する防府市地域協働支援センターには

- 研修室
 - フードスタジオ
 - 多目的ホール
 - 親子ふれあい広場
- など有料でご利用いただける施設もあります。

防府市市民活動支援センター 団体登録

登録の条件

- ◆4月～翌年3月までの1年間とする（登録料なし）
- ◆防府市で市民活動を行う団体または個人であること
- ◆活動は自主的、かつ、自発的な市民活動であること
- ◆センターと連携し、市民活動を行う意思があること
- ◆センターが開催する行事などに参加、または協力する意思があること
- ◆営利、宗教、政治、選挙を目的としない活動であること

次の要件を満たしている団体・個人が対象となります。

- (1) コミュニティ活動 一定の地域を拠点に行われる組織的な住民活動
- (2) ボランティア活動 個人あるいは志を共にする諸個人（グループ）が自発的な意思に基づいてほかの人を助けたり、社会活動に貢献したりする活動
- (3) NPO_{※1} 活動 特定非営利活動法人（NPO 法人）やそれ以外の民間非営利組織による組織的な「市民活動」
- (4) 活動分野 「分野分類表」（4 ページ）に記載のある分野を対象とする活動
- (5) その他 営利_{※2}、宗教、政治、選挙を目的としない活動

※1 NPO とは、Non Profit Organization（非営利組織）の略

※2 「営利を目的としない活動」とは、会員による利益の分配を伴わないことであり、活動を維持するための収益活動はここでいう「営利」ではありません。

登録の手続き

所定の市民活動登録カードに必要事項をご記入の上、防府市市民活動支援センターへご提出ください。協議の上で、登録の可否を決定します。

登録を解除するには、防府市市民活動支援センターへその旨を申し出てください。

防府市市民活動支援センター 出張講座

市民活動支援センターでは、日頃の活動や団体運営に役立つ講座を開催しています。ご依頼があれば、団体の活動拠点など希望場所にスタッフが出向いて講座を開催したり、市民活動支援センターの会議室など（ルルサス防府 2 階）で 5～10 名程度のミニ講座を開催したりすることができます。

下記のようなテーマで講座を開催しています。下記にないテーマでも、ご相談の上、団体のニーズに応じたテーマでセミナーを開催することもできます。団体として強化したいスキルや解決したい困り事がありましたら、お気軽にご相談ください♪

広報

- 広報のポイント
- チラシの作り方
- リーフレットの作り方
- ホームページの作り方
- ブログの作り方
- Facebook の使い方
- 写真の撮り方
- PR 動画の作り方

資料作成

- ワードの使い方
- エクセルの使い方
- プレゼン資料の作り方
- 報道資料の作り方

法人事務

- 法人設立について
- 会計の基礎知識
- NPO 法人会計基準

IT活用

- オンライン会議のやり方
- ネットサービスを活用した受付やアンケート調査のやり方
- ネットサービスを活用した出欠確認や日程調整のやり方

資金調達

- 資金調達の仕方
- 助成金申請書の書き方

防府市市民活動支援センター 市民活動ボランティアマッチング

『市民活動ボランティアマッチング』とは、**ボランティア活動をしたい**と考えている市民のボランティア登録と、活動に参加してくれる**ボランティアを募集したい**と考えている団体などのニーズ登録を受け、双方に情報提供などを行い、人と活動とをつないで、地域をよりよくすることを支援していく取組です。



ボランティア活動をしたい！

対象：自らが持つ知識や経験、または技術を活かした活動をしたい人、ボランティア活動をした
いと考えている人・団体

登録方法：所定のボランティア登録申込書を市民活動支援センターに提出してください。

マッチングの流れ：

市民活動支援センターが、市内で活動する団体からニーズを集め、登録者へ情報提供を行います。

参加できる活動があれば市民活動支援センターへご連絡ください。

活動に参加し、簡単な報告書をご提出ください。



ボランティアを募集したい！

対象：市民活動支援センター登録団体、行政などで公益性の高い活動をしている団体

登録方法：所定のニーズ登録申込書を市民活動支援センターに提出してください。

マッチングの流れ：

市民活動支援センターが、ボランティア登録者へニーズの情報提供を行います。

市民活動支援センターが、ボランティア登録者から応募を受け、調整を行います。

活動が終わったら、簡単な報告書をご提出ください。

出張講座の活用

Facebook 入門講座

開出西自治会

『開出西自治会』では、自治会の Facebook ページを立ち上げ、行事や活動の案内・報告、回覧物の共有などを行っています。回覧板を次に回してしまっただけでも情報を参照できるように、また災害時など緊急時に素早く情報が共有できるようにという思いで運営されています。

自治会館にて開催された出張講座では、実際に Facebook のアカウントを取得し、基本的な機能を確認しました。少人数だったので、操作に関する質問は個別に対応することができました。お互いにコメントを投稿し合ったりして、楽しい時間になりました。



問合せ 開出西自治会 担当：清水
E-Mail izellron@hotmail.com

出張講座の活用

オンラインツール活用講座

グリーフサポートやまぐち

『グリーフサポートやまぐち』は、病気、事故、事件、自死などにより、大切な何かを失った体験に伴う悲しみなどのさまざまな感情（グリーフ）を抱える子ども、大人が孤立せず地域の中で安心安全に集える空間をつくることを目的に活動しています。

新型コロナウイルス感染拡大がもたらす環境の変化によって、心や身体に変化が生じる子どもが増える中、少しでも不安や悩みの解決につながればという想いで、児童精神科医の講師に招き、『新型コロナウイルス感染症と親子のメンタルヘルス』という講演会をオンラインで開催しました。開催に向けて、運営スタッフで何度も集まり、Zoom、Google フォーム、Peatix といったツールの勉強会を行ったことで、参加者が安心して、スムーズに参加できる環境を整えることができました。



問合せ グリーフサポートやまぐち 担当：京井
TEL 090-7549-6127



ホームページ

出張講座の活用

情報の伝え方セミナー

公益社団法人防府青年会議所

『公益社団法人防府青年会議所』は、次代を担うリーダーとなるべく、自己研鑽とメンバー同士切磋琢磨を繰り返しながら、防府のまちに貢献するための活動を行っています。

コロナ禍の中、オンラインでのプレゼンを行う機会が増え、「伝えることの難しさを感じている」、また、「一緒に活動する仲間や協力者・応援者が増えるような広報を行っていききたい」というニーズに応え、広報担当の会員に向けて、情報デザインやオンラインコミュニケーションについてのレクチャーをさせていただきました。SNSでの日々の情報発信や広報物を作成する際のポイントなど、まずは他のメンバーにも伝え、今後の活動に活かしていくそうです。



問合せ 公益社団法人防府青年会議所
TEL 0835-23-2798



ホームページ

出張講座の活用

オンライン会議の始め方講座

防府市立防府図書館利用者・サークル連絡会

『防府市立防府図書館利用者・サークル連絡会』は、防府図書館の学習サークルが連携し、防府図書館と協働の力を発揮しながら、各学習サークルが抱える諸問題や図書館利用者として防府の教育文化の発展について考えることを目的に活動しています。

コロナ禍で、これまで定期的に行ってきた活動が制限される中、会議や講座の新たな運営方法について考えた時、パソコンの操作等に自信がない会員も多いため、オンラインを活用していくことに不安もありました。そこで、初心者向け講座や基本的な操作に慣れるための練習会を重ね、オンライン会議を取り入れるサークルも増えてきました。



問合せ 防府市立防府図書館利用者・サークル連絡会 担当：大田
TEL 0835-21-3084

市民活動ボランティアマッチング
子ども食堂の運営

こども食堂ひだまり

『こども食堂ひだまり』は、地域福祉に関する事業を行うことにより、住民同士のつながりをつくることを目的に、住民が集う場の運営や住民が抱える困りごとへの対応を行っています。

「何かボランティア活動を紹介してほしい」と、センターに相談に来られた宇部フロンティア大学の学生3名が、受付や駐車場誘導、配膳など、子ども食堂の運営を行いました。

『こども食堂ひだまり』のみなさんからは、「大活躍してくれてとても助かった」「また来てほしい」、学生からは、「今まで知らなかった、地域で行われている活動に関わることができてよかった」という声を聞くことができました。



問合せ こども食堂ひだまり 担当：大形
TEL 0835-23-5646

市民活動ボランティアマッチング
イベントの設営・運営

天神藝術まつり実行委員会

『天神藝術まつり実行委員会』は、防府天満宮および、周辺地域の発展を図る計画の立案と実施を行っています。天満宮を芸術発表の場とすることで、世代間・国際交流および、周辺地域の活性化に取り組むことを目的に活動しています。

毎年2月、防府天満宮の『梅まつり』に合わせて開催される『天神藝術村』では、手作り品の販売・体験、多国籍料理・スイーツの



販売、大道芸の披露など、多彩なプログラムが実施されるため、設営や運営にはたくさんの人手が必要となります。そこで、個人ボランティア登録をされている、宇部フロンティア大学の男子学生が、テントの組立てや撤去の作業、ブースでの受付などを行いました。学生にとっては、さまざまな団体の方と関わる貴重な体験となったようです。



問合せ 天神藝術まつり実行委員会 担当：山本
TEL 090-5266-7704

市民活動ボランティアマッチング

マスコットキャラクター制作

まつぼっくりの会

『まつぼっくりの会』は、地域福祉に関する事業を行うことにより、住民同士のつながりをつくることを目的に、住民が集う場の運営や、住民が抱える困りごとへの対応を行っています。

平成31年4月発足時、地域食堂の開催にあたり、広報を進めていくために、子どもから大人までさまざまな世代にとって親しみやすく、覚えてもらいやすいマスコットキャラクターを作りたいということで、個人ボランティア登録をされていた徳山大学の学生さんがキャラクターを制作されました。それをきっかけに、『まつぼっくりの会』も所属する『松崎地域まちづくり推進協議会』のホームページ制作も行われました。若い視点からの情報発信が行われています。



問合せ まつぼっくりの会 担当：井原
防府市市民活動支援センター 気付 TEL 0835-38-4422

市民活動ボランティアマッチング

読み聞かせ・ものづくりレクチャー

ままはあと

『ままはあと』は、ひとりで子育てを頑張っているママへ「ひとりじゃないよ」と伝えたい、「ここに来たらホッとできる」そんな場所をつくりたいという想いで、子育て座談会や子育て相談会、読み聞かせ会などの『がんばるママの子育て応援プログラム』を行っています。



子育て中の方向けにイベントを開催するにあたり、まずは自分たちがノウハウを身に付けようということで、『ふんわりハーグ♪』の重藤さんに読み聞かせのレクチャー、『牟礼青少年育成連絡協議会』の田村さんにもものづくりのレクチャーを受けました。日頃から、親子や子どもを対象としたイベントにおいて実践されている団体からお話を聴くことで、読み聞かせやものづくりのやり方だけでなく、運営上の注意点なども知ることができました。

問合せ ままはあと 担当：古村
E-Mail mamaheart0909@gmail.com

防府市市民活動支援センター活用事例

防府商工高等学校の実習受入れ 高校生が着物文化を発信！

着物交流サークル

『着物交流サークル』は、和装体験を通じて、着物文化の継承や観光、国際交流など、地域の活性化に役立つ活動を行いたいという想いで、学校でのゆかた教室や防府市が主催する行事など、地域での活動に積極的に取り組んでいます。

防府商工高等学校の『総合実践』の実習受入れを行い、まずは、生徒のみなさんに、着物のことを知ってもらう目的で着付け体験



を行いました。そして、団体の情報発信について、高校生の視点でアイデアを出し合ってもらい、着物のリモートファッションショーの開催と、団体のPR動画制作が行われました。参加した高校生は、一つのイベントを成功させることの難しさや見る人の視点に立って考えることの大切さを学べたようです。

問合せ 着物交流サークル 担当：河嶋
TEL 090-1026-7266

防府商工高等学校の実習受入れ 高校生が観光ガイドに挑戦！

防府市観光ボランティアガイドの会

『防府市観光ボランティアガイドの会』は、観光客のガイド活動を通して、防府の観光啓発並びにまちの活性化に寄与することを目的に活動しています。

防府商工高等学校の『総合実践』の実習受入れを行い、各地の古地図を現在地情報付きで見ることができる観光ガイドアプリ『こちずぶらり』の試用や高校生による桑山、三田尻の観光ガイド体験をサポートしました。



参加した高校生は、1回目に行った桑山のガイドは、アプリの説明を読むだけでしたが、その時の反省を生かし、2回目の三田尻のガイドは、インターネットなどを使って下調べをしてから臨んだそうです。今まで知らなかった防府の歴史や場所について知るとともに、ガイド体験を通して、観光客を楽しませる工夫や気配りの大切さも学べたようです。

問合せ 防府市観光ボランティアガイドの会
TEL 090-7128-6568

市民活動ガイドブック 2020

発行日 : 2021年(令和3年)3月

発行 : 防府市市民活動支援センター

〒747-0035 防府市栄町1-5-1 ルルサス防府2階

防府市地域協働支援センター内

TEL (0835) 38-4422 FAX (0835) 24-7733

E-mail ehofu@trust.ocn.ne.jp URL <http://hofu-saport.org/>